

東京ケーブルネットワーク株式会社
2025年度放送番組審議委員会議事録

開催日時 2026年3月6日
(14:00～16:00)

開催場所 東京ケーブルネットワーク本社会議室

放送番組審議委員

委員 … (文京区) 野堀 勝明、山中 一江
(荒川区) 木村 光範、南谷 素子
(千代田区) 齋藤 光治
(委員総数：5人)

当日出席委員 … 野堀 勝明、山中 一江、木村 光範、南谷 素子、齋藤 光治
(出席委員数：5人)

東京ケーブルネットワーク株式会社

代表取締役社長執行役員	津滝 義仁
取締役副社長執行役員	小松 淳也
コミュニティ事業部部長	富平 昌宏
コミュニティ事業部次長	中原 伸介
司会・議事進行	土岐 充
事務局(書記)	吉川 可那子、岡田 峻

1. 出席者紹介、配布資料説明、進行役挨拶

2. 開催にあたっての社長挨拶（津滝）

当社は開局以来、地域の皆さまに寄り添い区民生活に密着した情報の提供をはじめ、安心・安全に関わる重要なニュースや地域文化・活動を伝える番組など、多角的なメディアサービスを展開してまいりました。

近年、メディアを取り巻く環境は急速に変化しておりますが、こうした時代だからこそ、地域に根差した信頼性の高い情報源としてのケーブルテレビの役割はますます重要性を増しているものと認識しております。

本日ご参集いただきました審議委員の皆さまからのご意見・ご指摘は、番組改善に直結する大変貴重なものであり、弊社にとって何よりの財産でございます。いただいたご意見は真摯に受け止め、今後の番組編成方針や制作体制の見直しなど、具体的な改善へと着実につなげてまいります。

3. コミュニティチャンネルの番組制作の方針について（富平）

今年度の重点方針として、以下の4点について説明がなされた。

① 若手制作スタッフの育成

若手スタッフが主体となって企画・制作した地域情報番組を通じ、若年層が地域活動に関心を持ち、参加するきっかけづくりを図ってまいります。

② 地域団体とのアライアンスによる地域情報の掘り起こし

文京区のフミコム、荒川区の荒川ブランディング推進委員会、千代田区の千代田コミュニティラボなど各地域団体等の活動を取材・発信することで、地域の魅力再発見および活性化に寄与してまいります。

③ 自社 SNS の発信力の強化

現状では番組宣伝が中心となっており、番組内で紹介できなかった地域情報についても自社 SNS を活用して発信するなど、情報提供の充実を図ってまいります。

④ 新たな技術の探究・研究

近年、AIをはじめとする新技術を活用した番組制作が各制作現場で進められており、当社においてもこれらの新たな制作技術の導入を検討・推進し、視聴者にとって分かりやすく、イメージしやすい映像制作および作業効率の向上に活用してまいります。

4. 番組編成・制作について（中原）

レギュラー番組の内容について説明がなされた。

① 「あらぶんちょ散歩」

女性コンビのターリーターキーが3区を巡り、地域の魅力を紹介する番組で、弊社として最も力を入れております。

② 「夜からあらぶんちょ散歩」

「あらぶんちょ散歩」と同一エリアを対象に、夜の姿に焦点を当てたスピンオフ番組として展開し、異なる切り口で地域を紹介しております。

③ 「喫茶店探訪」

古き良き喫茶店を取り上げ、その魅力を紹介しております。

④ 「TCN フレンズ」

TCN の広報に協力いただいている店舗を番組内で紹介することで、相互の協力関係を構築しております。

⑤ 「ちょい歩き。」

あえて徒歩で都内を巡る街歩き番組として制作してまいります。

⑥ 「イイコト！SDGs！！」

当社が国連の SDGs メディア・コンパクトに加盟している立場から、メディアの力で SDGs に関する取り組みを後押しすることを目的として制作しております。

⑦ 「東京ユナイテッドコミュニティ 2025」

文京区をホームとする関東サッカーリーグ所属チームをスポンサーとして支援し、試合の様子を伝えております。

⑧ 「TCN インフォメーション」

CS 各チャンネルの魅力を紹介しております。

⑨ 「あらぶんちょ！ぷらす」

地域の行事を幅広く取材しており、神社仏閣や町会の祭りなどの取材に注力しました。

特に神田祭では、日本ケーブルテレビ連盟の「おまつりニッポン」へ映像提供を行うなど、同連盟と連携した制作を実施しております。

また、個別の番組紹介事例として、5月24日に荒川区のバリアフリー演劇を紹介したほか、ホテルグランドアーク半蔵門のリニューアルについて紹介しました。10月には文京区で80年続いた「かみもと文具」の閉店までを追った特別番組を制作し、全国で複数のケーブルテレビ局が加盟する東京デジタルネットワークへ番組提供を行い、より広い視聴者層にお届けしました。

特別番組として放送した3区親善少年野球大会（TCN杯）決勝戦の生中継は、プロ野球中継さながらの本格的な演出が好評を得ております。あわせて、今年は東京で初めて開催されたデフリンピックの生中継も実施致しました。さらに、日本ケーブルテレビ大賞の番組アワードにおける受賞作品の放送も行っており、今後は弊社番組が同アワードを受賞できるように、番組制作体制の一層の強化を目指してまいります。

《番組映像視聴》

6. 各委員からのご意見・ご要望

野堀委員

限られた資源の中で多くの番組を効率的に制作している点は高く評価できます。一方で、番組内容は全体的にやや真面目な印象があり、コミュニティチャンネルならではの独自性をより打ち出す余地があると感じます。「あらぶんちょ通信」における紙媒体・SNS・放送を組み合わせた展開はケーブルテレビの強みであり、さらなる活用を期待しております。また、過去番組のアーカイブ活用や、地域に愛された存在や歴史を伝える企画は、地域貢献の観点からも今後継続して取り上げることをご検討ください。

回答（富平）

番組が真面目な印象にならないよう留意しつつ、視聴者目線に立った、親しみやすい番組づくりを進めていく考えです。また、紙媒体・SNS・放送を組み合わせた情報発信については今年度の方針として位置付けており、イベント主催者とも相互にPRを行う形での展開を

目指しております。あわせて、過去番組のアーカイブについては今後の課題と捉え、同業他社と連携しながらデジタル化・保存の検討を進めてまいります。

齊藤委員

文房具店の閉店を取り上げた番組は印象に残りました。普段はあまりテレビを視聴していないが、11時頃放送の「あらぶんちょ散歩」と「あらまる NEXT」は視聴しており、地域の情報を知ることによって散歩時の行き先の参考になっています。神田明神や水道橋の定点カメラ映像も良い取り組みだと感じました。

今後は飲食店だけでなく、街のクリニックなど生活に身近な施設の紹介もご検討ください。

また、当社の想定する視聴者層・ターゲット年代についてはどう考えられているのか。

少年野球などの地域スポーツ中継は、関係者や地域住民が視聴するきっかけになりやすいため、より積極的なPRを行い多くの人に見てもらえるようにするとよいと思います。

回答（富平）

ライブカメラについては、現在NHKと災害時等における映像の相互活用について協議を進めております。当社から提供できる映像は現時点ではまだ限られているため、今後はライブカメラの設置台数を増やしていきたいと考えております。

散歩番組については飲食店の紹介に偏りがちであるが、今後はさまざまな業種・商いを営む事業者も積極的に取り上げ、取材対象を広げてまいりたいと思います。

視聴者のターゲット層は特定していないが、実際の視聴者は高齢層が多いことから、わかりやすい表現・伝え方を心がけてまいります。

PRについては、自社媒体に限らず、地域の企業や団体と相互に連携し、宣伝し合えるようなメディア展開を目指していきたいと考えております。

木村委員

生成AIの発達やインターネットの普及により、個人がメディアに頼らず情報を取得できる時代となり、特に若年層はテレビ視聴が減少している。そのような環境下で、ケーブルテレビの役割は変化しているが、地域に根差した視点で情報を取捨選択し、分かりやすく伝える存在として、依然として重要な役割を担っていると感じています。

一方、あらぶんちょ通信のような情報は、AIでも容易に検索できる時代であり、単なる情報提供では視聴動機につながりにくい。だからこそ、地域の当事者や関係者が関わるスポーツ大会やバリアフリー演劇など、「自分ごと」になるコンテンツは、ケーブルテレビならではの強みだと思います。

今後は、3区内の各種団体と連携し、地域に存在する多様なコミュニティ活動を発掘・発信しながら、新たなコミュニティ形成をケーブルテレビ主体で進めていくことに意義があると考えます。また、文京・荒川・千代田の各区を分けて扱うだけでなく、3区にまたがる特性を生かし、エリア横断型の企画（例：3区をつなぐ散策企画など）にも取り組むと良いのではないのでしょうか。

回答（富平）

まず、AIの活用については、ケーブルテレビ他局では特に若手スタッフが生成AIを活用

した番組制作を行っていると同っており、今後は弊社においても段階的に導入していきたいと考えております。

また、3区の団体との連携については、今年度最も力を入れて取り組んできた分野でございます。その一例として、「千代田区富士見小学校のゲストティーチャー」の授業があり、企画者の話では、自身の子どもが通う小学校で特別授業ができないかと校長から相談を受けたことがきっかけで始まったとのことでした。町会に関わる保護者の職業を子どもたちに伝える機会として実施されており、取材を通じて新たな出会いやつながりが生まれ、結果として新しいコミュニティ形成につながる可能性を感じております。

3区にまたがる番組制作については、これまで1区単位での制作が中心であったが、隣接地域の情報はそれぞれの区の住民にとっても有益であると考えており、今後はエリア横断型の企画を番組制作に取り入れていきたいと考えております。

回答（中原）

今年の年末年始の特別番組で駒込（文京区と豊島区）地区を取り上げてみましたが、区境の方は両区が生活圏であるためそこも含めて紹介をいたしました。

南谷委員

荒川区は昨年、「世界の味覚の穴場 10 都市」の一つに選ばれている。先日放送されたテレビ番組では「もんじゃ焼き」が1位として紹介されていたが、町屋に古くからあったもんじゃ焼き店「浜作」が閉店してしまいました。新しい店も重要ではあるが、荒川区民に長く親しまれてきた伝統ある店こそ積極的に紹介してほしい。先ほど紹介のあった文房具店の番組と同様に、荒川区を代表するような店舗の閉店についても、地域の歴史として取り上げる意義があると感じました。

また、私は子ども食堂を運営しており、この10年間、ランドセルのリサイクル活動にも取り組んでおり、3年前には「イイコト！SDGs！！」で紹介してもらいました。「荒川区子ども応援ネットワーク」は、子ども食堂や子どもの居場所づくり、不登校支援などにおいて重要な役割を果たしているが、区民にはまだ十分に知られていないと感じています。

不登校などで子どもたちが困った際、こうした支援情報がテレビで放送されていれば、保護者や子ども自身が目にするきっかけとなり、相談につながる可能性があります。10年間活動を続けてきたが、利用者がまだ少ないと感じているため、今後はこうした取り組みについて、より深掘りした取材・発信を行っていただきたい。

回答（富平）

もんじゃ焼き店「浜作」については、取材することができず申し訳ございませんでした。伝統あるお店であったとのことで、取材に伺えなかったことを残念に思っております。

子どもの居場所に関しては、先日、南千住の「なにかし堂」を訪問いたしました。同所もお子さまの居場所づくりに取り組まれている大変素晴らしい活動であると感じました。今後も、少しずつではありますが、区民の皆さまに知っていただきたい情報を積極的に取り上げていきたいと考えております。

こうした取り組みについては、これまで「イイコト！SDGs！！」の番組内で紹介してまいりましたが、今後はそれ以外の番組においても取材・発信を行っていきたいと考えており

ます。子どもがまだ把握できていない活動や、それを実施されている方々も多くいらっしゃると思いますので、ぜひ弊社までご紹介いただければ幸いです。

山中委員

各番組は工夫されており、特に千代田区でのゲストティーチャーの取材や文京区でのアナウンサー体験が印象的でした。今後は、学校との連携をさらに深めることで、子どもが出演する番組を通じた視聴促進や加入効果が期待できると思います。

また、文京区で行われている職業体験や企業のインターンシップなども取材・放送することで、学生の視聴や企業のPRにつながるのではないかと感じました。

加えて、町会や商店街と連携した住民参加型のバリアフリーマップの取り組みは、防災の観点からも意義があり、地域のつながりを深めるものとして推進していただきたい。

さらに、商工会議所や観光協会など区内団体との連携強化やサッカー中継のようなコミュニティチャンネルならではの独自番組を増やすことで、広告価値の向上も期待できます。

来年の東京大学150周年を契機とした文京区連携企画にも期待したい。

回答（富平）

職業体験については番組で放送しておりませんが、今年も2月の初めに文京区の中学校から職業体験のお話があり、5、6名の中学生にご参加いただき、スタジオでカメラの使い方の体験などをさせていただきました。

回答（土岐）

若い頃から、仕事とは別にボランティアとして、地域の小学校・中学校・高校でアナウンスや朗読の指導に携わってきました。荒川区の地域イベントで小学生を対象にアナウンサー体験を実施したことが始まりであり、その後、文京区の大塚地域活動センターでも同様の体験教室を行っております。現在も毎年継続しており、今年も5月30日に開催予定です。

7. 閉会の挨拶（小松）

本日はありがとうございました。本日いただいたさまざまなご意見を今後の参考とし、より良い番組制作に努めてまいります。「あらぶんちょぷらす」は、お祭りなどを中心に取り上げるニュース番組として、2025年度は関連会社との共同制作で実施しましたが、来期は2名の新人ディレクターによる完全自主制作で行う予定です。

皆さまからのご意見を活かし、限られた放送枠ではありますが、バラエティに富んだ地域情報を取り上げ、地域の皆さまにお届けできるよう精進してまいります。引き続きご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。